

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1. 基本理念

中津川市は、市街地を中心に核家族化が進み、周辺地区においては過疎化の進行が見られます。また、ライフスタイルの変化や生活の価値観の多様化、経済の低迷などにより、子育てに対する不安を一人で抱える親が増えています。

しかし、豊かな自然環境や文化、世代間のつながりなどが残されているこの地域風土は、中津川市を、子どもを産み育てやすい地域へと変える可能性を多く持っています。子どもや家族を取りまく地域、企業、行政が手を取り合い、様々な角度から子どもと親を支え育てる取り組みが求められます。

子どもたちは成長し、やがて親となり、次世代を担う立場となっていきます。世代交流や温かな親子関係の構築の中で、生活文化は伝承され、心の豊かさを育みます。世代交流や異年齢との交流、遊びや文化の創造の中で、社会性や自立心が養われます。こうした様々な世代交流は、次世代を育成する大切な子育て支援です。

また、中津川市に若者が住み続け、家族が構成できるような産業の振興に取り組むことや、職場環境の整備、生活環境の整備に取り組む、安心して暮らせる温かい福祉のまちを作っていくことは、安心して子どもを産み育てるための重要な要素です。

こうした考えに基づき、一人の子どもが生まれ成長する過程を総合的に支援するために、子どもの幸せ、親の幸せを目指して、本計画の基本理念を次のように定めます。

**心豊かな親子を支える地域**

**いきいき輝くふるさと中津川**

